

正覚寺だより

スジャータ

62

平成29年(2017)

7月1日発行

【スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である】

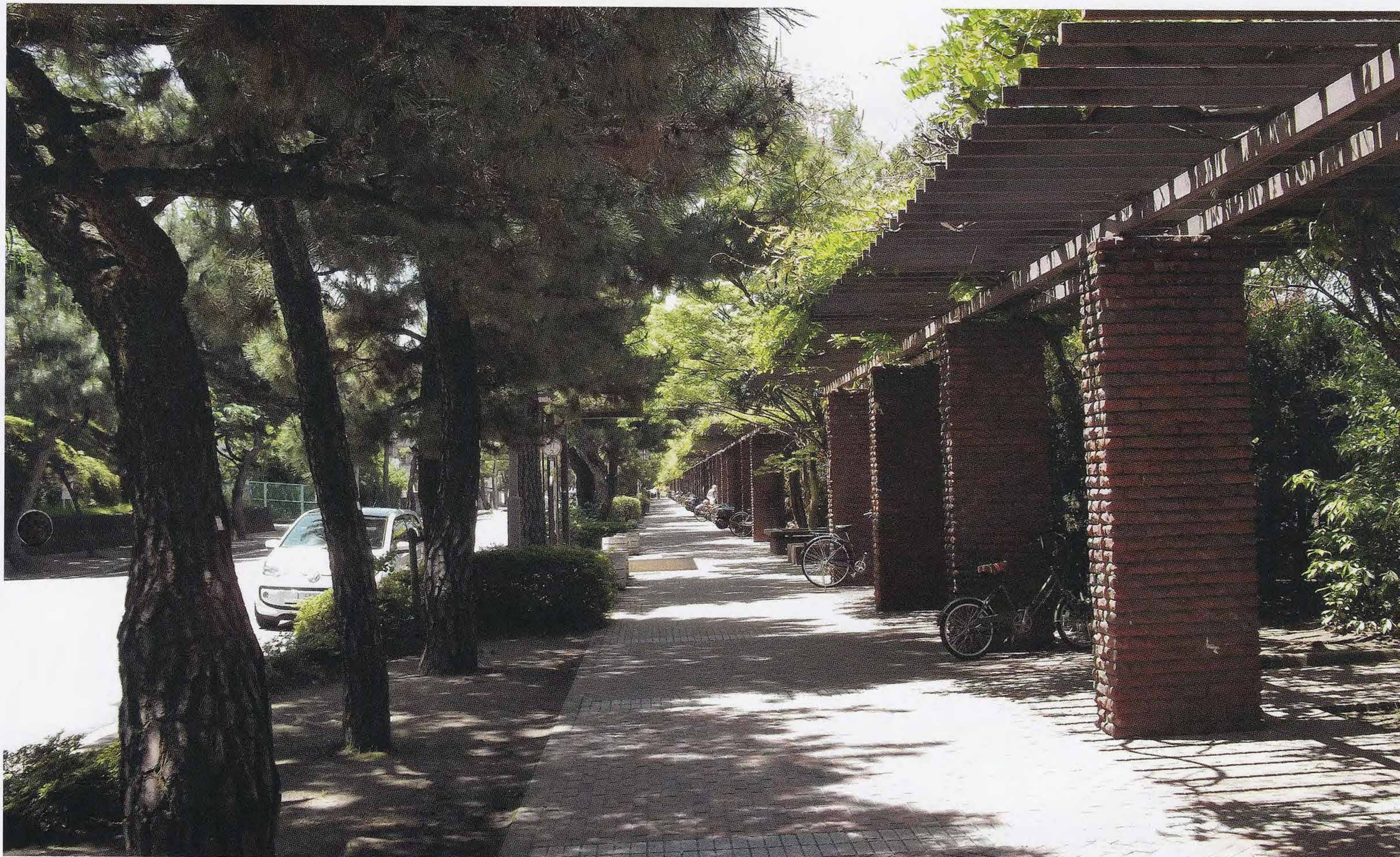
短期集中 仏教講座

ご じゅう そう でん 五重相伝

平成30年10月31日(水)より5日間

年内の行事予定

お盆のご案内



市民広場(旧、練兵場)沿いの歩道

【住職のつぶやき】

修学旅行

— 印象深い出来事 —



[住職のつぶやき]

修学旅行

— 印象深い出来事 —

住職／山縣 正紀



(1)

先日、京都駅で修学旅行の団体を目にし、かつて行った自分達の修学旅行を思い出した。

8台のバスを連ねて学校を出発し奈良、京都を回った。古い神社仏閣への参拝は今なら味わい深い、中学生達にはとても退屈な旅だった。

まだ高速道路のなかった時代、帰路は一晩かけてバスで走った。親しくなった女性のガイドさんは夕暮れの京都で下車、代わりに車掌のオジサンが乗ってきた。

もしかしたら、交代でバスの運転をしたのかもしれない。疲れていた私達は、揺られながら深い眠りに落ちていった。

そして翌朝。学校まではまだ遠くて薄暗いが、

「みんな起きよう」

と声をかけられたのだ。やけに明るいそのオジサンの声に、眠いばかりの私達は不平不満を口にした。でも、

「君らにとって、生涯にたった一度の中学の修学旅行がもうすぐ終わる」

「二度とないんだから、眠いだろうが起きて一緒に歌おう」

そんな事を笑顔で話された。

朝靄あさもやでまだ白い街をボーッと見ながら、薦められて歌ったのは舟木一夫の、
〈修学旅行〉

だった。私と同世代の方は覚えておられるでしょうか？

♪♪二度と帰らぬ 思い出乗せて

クラス友達 肩寄せ合えば…♪♪

その時は、

「そんなものかなあ…」

ぐらいい感じていたが、今になってみると、旅行の中で一番印象深い事として鮮明に覚えているのだ。

中学生からはオジサンに見えたけど、実際は若い人だったのだろうか。少なくとも「若い心」「熱い心」を持ち、更にその上、物事を深く考える大人だったのだろう。

そうでなければ自分の仕事でもないのに、寝ている中学生達を起こしてまで、わざわざそんな事はしなかったと思う。

(2)

それで修学旅行は無事に終わるはずだったが、直後に同級生の中から次々と〈赤痢患者〉が発生して大騒動になった。

赤痢は法定伝染病なので、同級生360人程と家族全員が検査された結果、300人余りが隔離された。そして、まるで鳥インフルエンザが発生した鶏小屋の様に、家中を消毒された。

呉と広島の隔離病棟はすぐに満杯、もう収容する病室が無くなってしまい、私のような〈健康保菌者〉、つまり〈赤痢菌を持ってはいるが発症していない者〉は、学校閉鎖になった教室に、自前の布団を持ち込んで隔離されたのである。

自然災害の後の避難所、まさにあの状態であった。

ガイドさんや運転手さん、伝染した家族、後から同じバスを使って修学旅行に行った、市内の他校の生徒まで感染してどんどん収容されてくる。

校舎の回りにはロープが張られ、誰

も立ち入りは出来ない。患者は2階以上に上げられ、校庭どころか1階にも降りられない。生活空間としては、教室と前の廊下だけがすべてだった。

服薬を続け3週間後に再検査、菌が出なければ帰宅出来るが、その間に発症して体調が悪くなれば病院へ回された。

悪い事に〈健康保菌者〉は、みんな元気なのである。私達生徒も辛かったが、元気盛りの中学生を教室と廊下だけに最低3週間も閉じこめておくのは、先生方にとって、それは相当困難な事だったと思う。

何分、同じ〈健康保菌者〉で、校舎に隔離されている少数の先生だけでしか対応出来ないのだから想像に余る。

後に、京都で泊まった旅館の料理長が保菌者だったと聞いた。

(3)

そんな訳で、中学校の修学旅行といえば〈集団赤痢〉なのだ。でもその中で

一つ、爽やかな事として思い出されるのが冒頭の車掌さんの事である。

寝ぼけ眼で学校に到着し、気がついたら修学旅行が終わっていたのでは、裏表紙の無いハードカバー(硬い表紙の本)みたいで収まりが悪かっただろう。

とても素晴らしい大人との出会いだったと、今ではとても感謝しています。

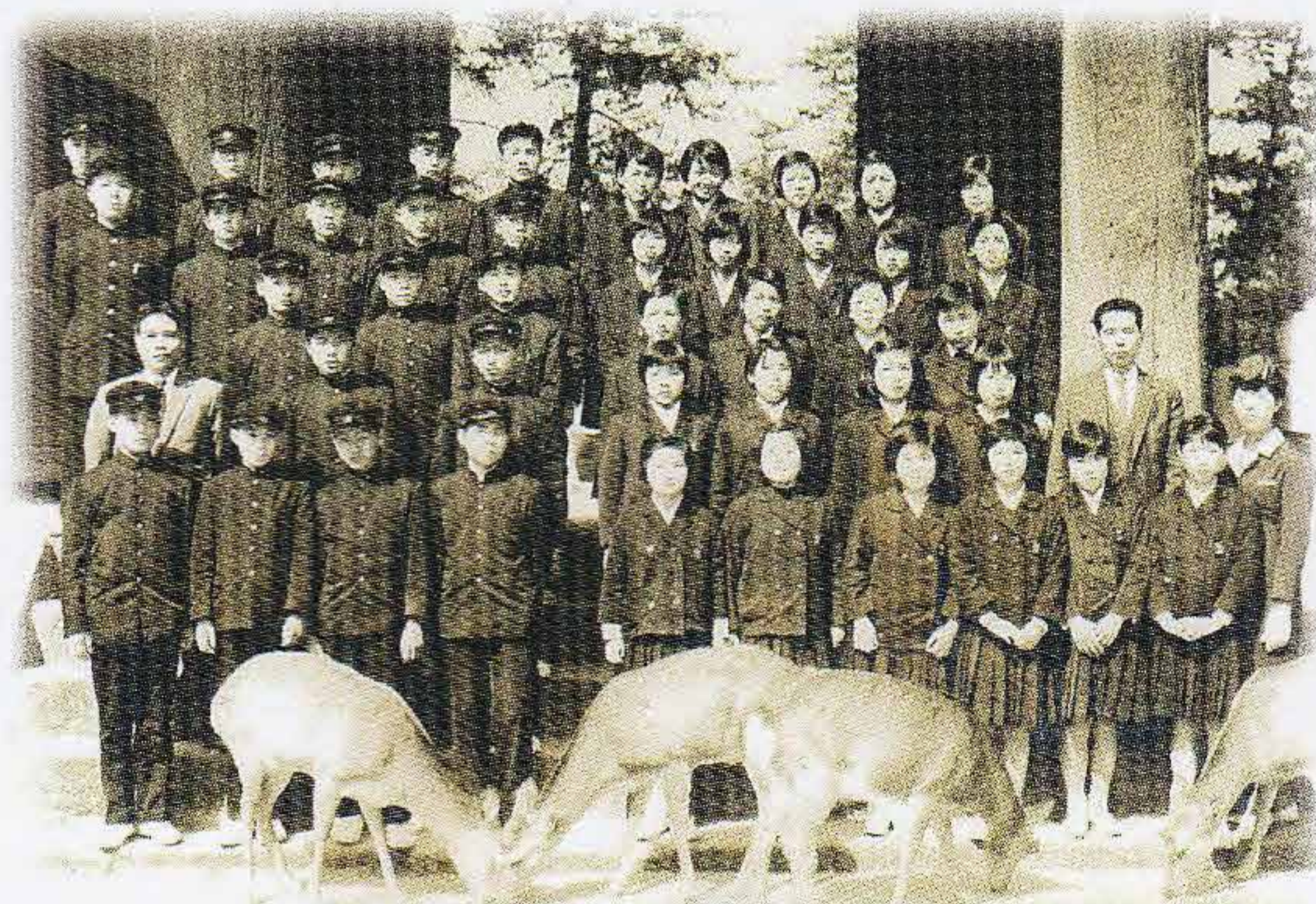
「一期一会」

つまり、

「生涯にたった一度限りの事」

「人生の一コマ一コマを大切にすること」などを教わったように思う。

今もどこかで、お元気にお暮らしの事を願っております。



年内の行事予定

7月	1日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	フリースペース(ヨガ・詠唱など)
	17日(月祝)	9:00~12:00	お盆をむかえる 盆棚経法要
8月	15日(火)	9:00~12:00	ご先祖に感謝する 盆施餓鬼会
9月	2日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	フリースペース(ヨガ・詠唱など)
	3日(日)	14:00~17:00	東京法要(港区 増上寺にて)
	23日(土祝)	10:00~12:00	秋彼岸会(講師によるお彼岸の法話)
10月	7日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	フリースペース(ヨガ・詠唱など)
	21日(土)	10:00~12:00	土曜塾(住職の法話)
		13:30~15:00	フリースペース(ヨガ・詠唱など)
11月	4日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	フリースペース(ヨガ・詠唱など)
	19日(日)	10:00~12:00	十夜法要(講師によるお十夜の法話)
12月	2日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	フリースペース(ヨガ・詠唱など)
	16日(土)	10:00~12:00	土曜塾(住職の法話)
		13:30~15:00	フリースペース(ヨガ・詠唱など)





お盆のご案内

どうぞ
お参り下さい

お盆をむかえる

ほん たな ぎょう ほう よう

盆棚経法要

7月17日(月・祝)
朝9時より

■ 受付は、朝8時半から11時まで

- 同封の水色の回向袋え こう ぶくろに、棚経回向ご希望の戒名をご記入の上、当日ご持参下されば回向した後、「棚経回向之證」をお渡し致します。
- それぞれの家庭の仏壇に祀って、お盆をお迎え下さい。
- 昨年の「棚経回向之證」がまだ仏壇にある方は、当日ご持参下さい。後日まとめて浄火供養（お焚上げ）致します。

P 小学校の正門から入って、校舎の前庭のみ利用できます。

感謝の気持ちで

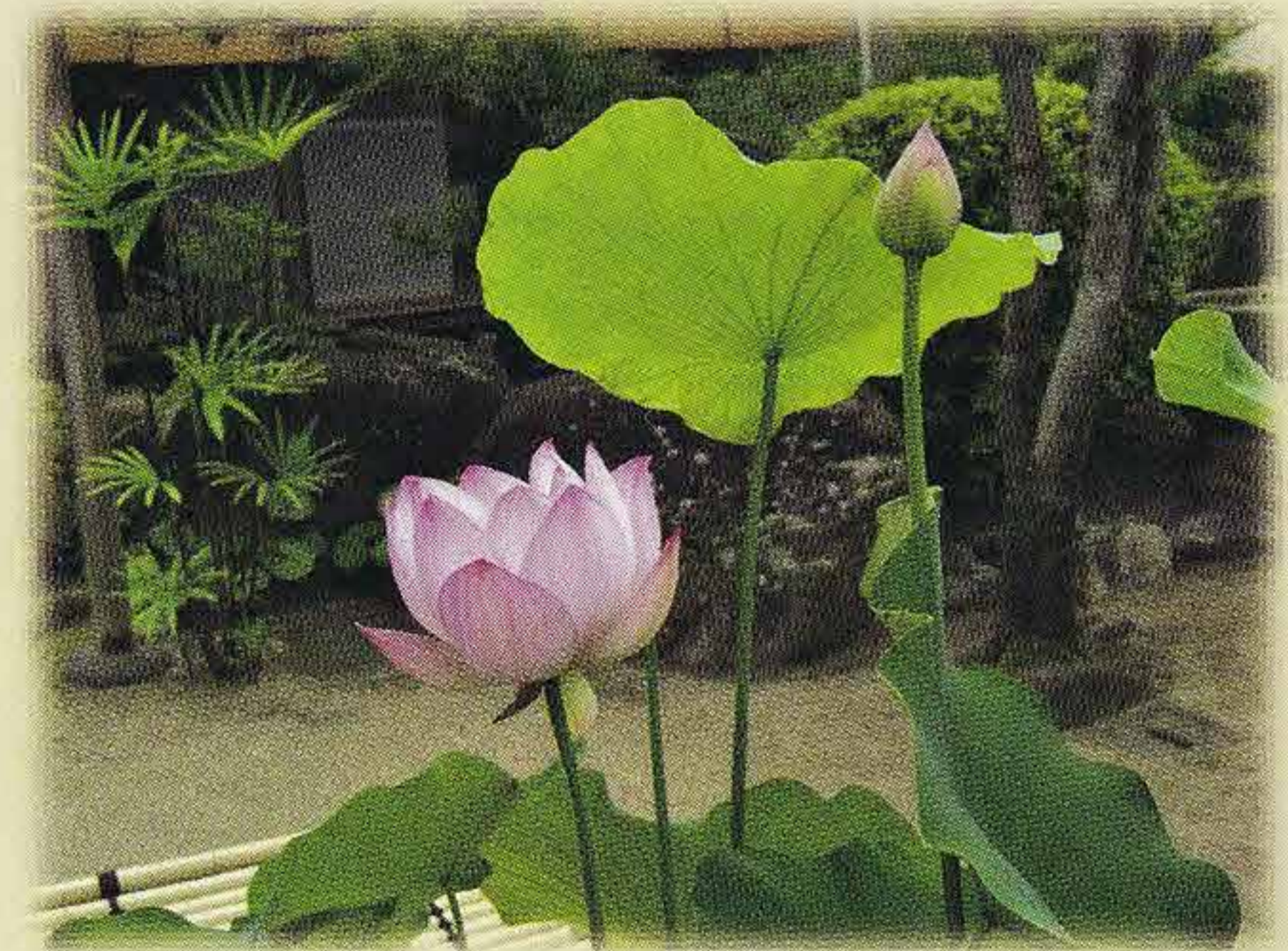
ほん せ が き え

盆施餓鬼会

8月15日(火)
朝9時より

■ 受付は、朝8時半から11時まで

- 同封の黄色の回向袋に、塔婆回向ご希望の戒名をご記入して、当日ご持参下さい。
- 塔婆に書きかえてご回向致します。



P 小学校の正門、裏門の両方から入って、前庭とグランド共に利用できます。

※ 駐車方法について

グランド中央部分への通行、駐車は避けて下さい。車輪の跡が残って学校に迷惑をかける事になります。恐れ入りますが係の方の指示に従って下さい。

“初盆”のお参りを希望される方は

7月10日(月)までにご連絡下さい

- 日時を決めて正覚寺で、又はご自宅へお参り致します。
- 棚経法要(7/17)、施餓鬼会(8/15)には、回向袋の初盆に○印をつけてお参り下さい。

東京法要

今年も開催します！

日時：9月3日（日）

14時から

場所：港区芝公園

大本山 増上寺 大殿にて

参詣ご希望の方には案内状をお送り致します

普段、呉までお参りの出来にくい首都圏在住の方々のために、住職と副住職が出向き、今年も開催致します。

東京近郊在住の方々には、後日改めて案内状をお送り致します。それ以外の方々、

- ご兄弟や子供さんが東京近郊にお住まいの方。
- 呉から参加してみようと思われる方。etc.

ご希望の方には案内状をお送り致しますので、どうぞご連絡下さい。



秋の法要ご案内

～法話と回向～

あき ひ がん え
秋 彼岸 会

9月23日（土・祝） ■ 朝10時より

講師：北九州市 生往寺 住職
安永 宏史 師

じゅう や ほう よう
十 夜 法 要

11月19日（日） ■ 朝10時より

えい たい きょう く よう
永代経供養

講師：鳥取市 大善寺 住職
米村 昭寛 師

仏法を伝える

ご じゅう そう でん
五重相伝

短期集中
仏教講座

来年 秋に開催！！

平成30年10月31日（水）から5日間
早めにお知らせします
予定に入れておいて下さい

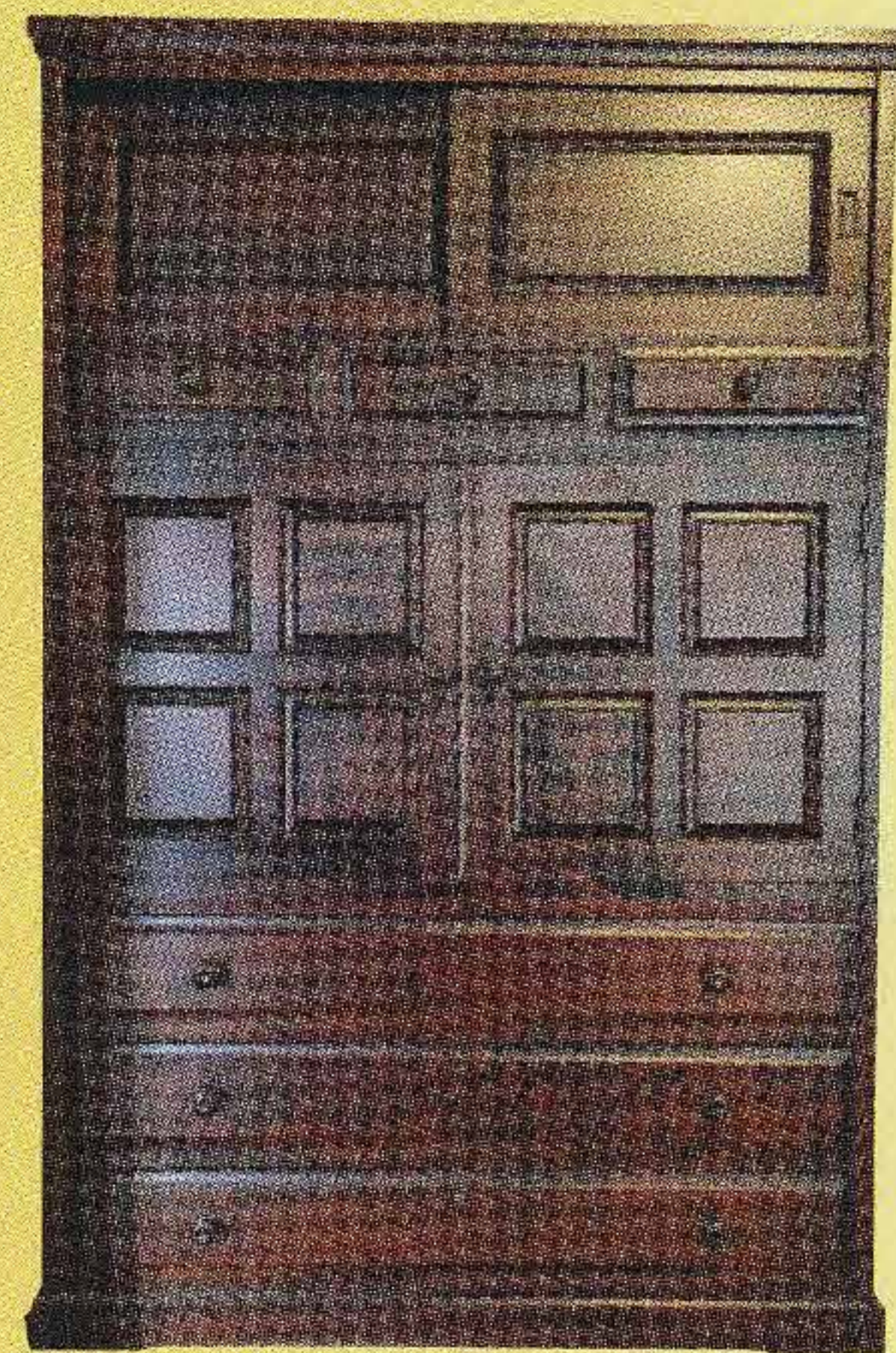
けさ
戒名と袈裟を授与いたします

感謝録

わだんす ひとさお
和箆筒 一竿 〈松山市〉 市村 陽子さん

～いつも皆さまのご厚情に感謝しております～

副住職雷音が修行を終え京都から戻り、増えた衣や袈裟ころも けさの新たな収納場所に困っていたところ、頂いた和箆筒のお陰で使いやすく整理整頓されました。誠に有り難うございます。



檀家会費納入のお願い

年会費／一口 3,000 円

受付／9月末日まで随時

- すでに納入済みの方には誠に有り難うございます。
- 毎年1月のスジャータ紙上で会計報告の通り、正覚寺の護持のために使わせて頂いております。
- お盆などにお参りの時、受付へ納めて頂ければ幸いです。
- また送金の方には、お近くの郵便局備付けの振替用紙をご利用下さい。

口座番号・01300-5-13754
加入者名・浄土宗 正覚寺

何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

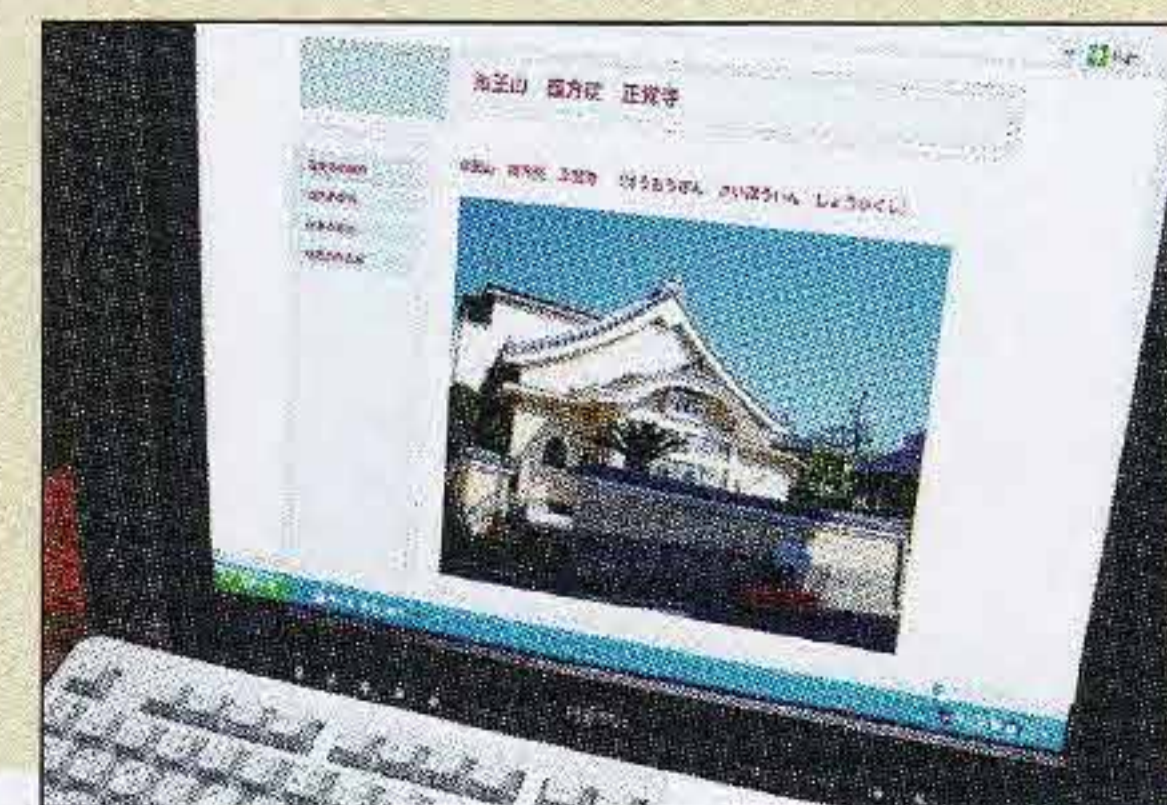
あともがき

- 「フリースペース」とは、通常第1・3土曜日午後に正覚寺を開放することです。皆さんの企画でご自由にお使い下さい。今年から着付けの教室も始まっています。
- 盆前大掃除が、6月3日(土)朝9時より行われました。1時間余りの清掃の後、読経とお念仏、そして軽食と歓談を楽しみました。奉仕して下った22名の皆さま、大変お世話になりました。
- 8月15日の盆施餓鬼会の参詣者にお渡しする団扇うちわ、今年は正覚寺と縁の深い西条町の随泉寺を描いてみました。
- 住職が趣味で行っている絵画グループ「互楽会」、最後の展示会を11月7日(火)から3日間、いつもの文化ホール3階展示室で開催いたします。どうぞお立ち寄り下さい。



正覚寺ホームページ

呉市 正覚寺 検索



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺
でんわ／0823-21-6086 FAX／0823-22-9922